

| | | | |
|---|--|------|---------|
| 分野 | 専門基礎分野 | 科目名 | 薬理学 |
| 時間 | 21時間 | 開講時期 | 1年次（後期） |
| 講師名 | 外部講師 | | |
| 科目目標 | 1. 薬物の種類・特徴・作用機序・副作用について理解できる。 2. 薬に関する法律と取り扱いが理解できる。 | | |
| 講義形態 | ①講義・演習 | | |
| 講義内容 | | | |
| <p>薬理学総論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理学を学ぶにあたって 2. 薬理学の基礎知識 <p>薬理学各論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抗感染症薬 2. 抗がん薬 3. 免疫治療薬 4. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5. 末梢での神経活動に作用する薬物 6. 中枢神経系に作用する薬物 7. 循環器系に作用する薬物 8. 呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物 9. 物質代謝に作用する薬物 10. 皮膚科用薬・眼科用薬 11. 救急の際に使用される薬物 12. 漢方薬 13. 消毒薬 14. 輸液製剤・輸血剤 | | | |
| 【テキスト／参考文献】 | | | |
| 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[3]薬理 | | | |
| 【評価】 | | | |
| 学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする | | | |